

第111回 卒業式を挙



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行人 中原 泉
編集人 行 年 6 回
発行部数 1部 100円
定価 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
編集室 (025) (267) 1500



本学のシンボルマーク

両学部154名が巣立つ 第59回大学院修了式を併催

新潟生命歯学部
コロナ下、新潟生命歯学部は3月2日に講堂において、大学院第59回修了式を併催して挙行された。
定刻午前11時、司会の荒木宣行事務副部長が開式を宣し、新型コロナウイルス感染症拡大の予防のため、式典は簡略化する旨が告げられた。
まずクラス主任の田中彰教授より、令和3年度



隔席の卒業生、壇上も最少の教員が並ぶ(東京)



藤井学長より皆勤賞をうける卒業生(新潟)

(2021)卒業生45名の氏名が呼びあげられた。代表して八藤後堯君に、藤井一維学長より卒業の証として学士(歯学)の学位記が授与された。
つづいて学術優秀賞13名、皆勤賞1名、精勤賞6名、学術奨励賞1名、臨床実習優秀賞1名、および学術奨励賞7名に対し賞状が授与された。
ついで大学院新潟生命歯学研究科長の佐藤義英教授より、同研究科博士

課程修了生3名の氏名が呼びあげられ、代表して佐藤柚香里さんに、藤井学長より研究の証として博士(歯学)の学位記が授与された。
ここで藤井学長が告辞を述べた(要旨別掲)。さらに校友会表彰16名に表彰状が授与された。式典は、午前10時20分に閉式した。

生命歯学部
コロナ下、生命歯学部

の部は3月4日に富士見ホールにおいて、大学院第59回修了式を併催して挙行された。
定刻午前10時、司会の田口潤庶務部長が開式を宣し、新型コロナウイルス感染症拡大の予防のため、式典は簡略化する旨が告げられた。
まずクラス主任の砂田勝久教授より、令和3年度(2021)卒業生109名の氏名が呼びあげられた。代表して宮田大輝君に、藤井一維学長より卒業の証として学士(歯学)の学位記が授与された。
つづいて学術優秀賞29名、皆勤賞5名、精勤賞14名、臨床実習優秀賞3名、および学術奨励賞10名に対し賞状が授与された。
ついで大学院生命歯学研究科長の苅部洋行教授



卒業告辞

1つ目、諸君は、これまで、ほぼ、与えられた教育を受けてきました。しかし、これからは、プロフェッションである歯科医師となる以上、生涯学習は必須となります。習は必須となります。

それは、単に新しい知識・技術のみならず、法規の改正や歯科界の風も自らの探索で感じる必要があるということ。諸君が生涯学習を継続するのは、自分たちのためではなく、患者さんのためであることを。111回卒に幸あれ。

より、同研究科博士課程修了生16名の氏名が呼びあげられた。代表して佐野眞子さんに、藤井学長より研究の証として博士(歯学)の学位記が授与された。

短期大学
東京短期大学(小林隆太郎学長)の卒業式は、3月8日に富士見ホールにおいて挙行された。

本学に見舞金
日本歯科大学校友会
本学は3月4日、日本歯科大学校友会の近藤勝洪会長より、新型コロナウイルス感染症拡大による見舞金として、二百万円をうけた。

ここで藤井学長が告辞を述べた(要旨別掲)。さらに校友会表彰者33名に、表彰状が授与された。

計報
近藤悦子先生
本学名誉博士の近藤悦子先生(54回卒)は、3月18日に東京で、肺癌のため死去された。享年82。

小林寛先生
本学名誉教授の小林寛先生は、4月1日に前橋市で、腹部大動脈破裂のため死去された。享年86。

桑田正博先生 約300点の寄贈

新築の東京短大内
記念館に展示予定
このたび本学は、故桑田正博先生より、記念の品々約300点の寄贈をうけた。

村上天先生 殿堂入り
「二〇二二年 KYOTO 地球環境の殿堂」
アフリカのマリ共和国でのボランティアが33年となる村上天先生(54回卒)は、このたび、京都府の主催する「二〇二二年 KYOTO 地球環境の殿堂」に殿堂入りが決まった。

桑田先生は、金属焼付ポセレン(PFM)の開発者として知られる歯科技工士で、歯科補綴学、歯科技工学、咬合学等幅広い分野において活躍し

その功績は国際的に高い評価をうけていた。去年7月16日東京で死去された。享年85。
寄贈された記念品は、神楽坂上に新築予定の東京短期大学の桑田記念館に、展示・保管することになっている。

故人の遺志によりご遺体は、新潟生命歯学部に献体された。
忘れないうで下さい。
2つ目は、富士見浜浦フェスタでもお話ししたことですが、諸君は、自分の永久番号である111という数字を忘れてはならないということ。今後、社会に出た際、あらゆるところで、何回?と聞かれるでしょう。これは、不思議と他の大学を卒業した先生からも聞かれることがあるのです。ぞる目は、縁起が良いと言われますが、111は、特に今までの苦勞が実り、幸運という形がもたらされるそうです。111回卒に幸あれ。

